

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称: 社団法人 長野県介護福祉士会	所在地 〒380-0836 長野県長野市南長野南県町 1001 番地 3
評価実施期間: 平成 24 年 9 月 1 日から平成 25 年 3 月 8 日 ※契約日から評価結果報告会日まで	
評価調査者 (評価調査者養成研修修了者番号を記載) 050431 061252 061262	

2 福祉サービス事業者情報 (平成 24 年 2 月現在)

事業所名: 上田しいのみ園	種別: 身体障害者入所授産 (旧)
代表者氏名: 代表者: 村上 恒夫 (理事長) : 管理者: 角田 信治 (施設長)	定員: 入所 50 名 (旧施設定員) 通所 10 名
設置主体: 社会福祉法人上田しいのみ会 経営主体: 社会福祉法人上田しいのみ会	開設 年月日 昭和 53 年 4 月 1 日
所在地: 〒386-1542 長野県上田市中之条 801	
電話番号 0268-31-0005	FAX 0268-31-0008
ホームページアドレス: http://www.shiinomikai.com	

3 評価結果総評 (利用者調査結果を含む)

1. 総評

事業所は上田市街地の中央に位置し、平坦で温かく交通の便に恵まれている。経営母体である「社会福祉法人 上田しいのみ会」は、福祉に対する熱意は厚く、1978(昭和 53)年に、身体障害者授産施設「上田しいのみ園」を開設して依頼、身障部門、高齢者部門と多くの施設を開き、地域福祉ニーズに応え、住民の高い信頼を得ている。

上田しいのみ園は、障害者自立支援法に基づく障害者支援施設で、日常生活が比較的自立している方の利用が中心となっている。施設の建物は広くゆったりしており、耐震工事も終了し、安全で清潔感のある生活空間を提供している。利用者の表情も明るく、自由に豊かな生活を送

っている雰囲気を感じられる。

創立以来 30 年余を経過しながら、時代に対応しつつ発展してきた施設は、施設長を中心に一人ひとりの職員に経営理念が浸透しており、『向上心』と『温かい心』の中に、利用者を敬い守ろうとする姿勢が身についており、安心と安定感のある施設である。

2. 特に良いと思われる点

①利用者の意志を尊重した支援の提供

法人としての理念と基本方針は、長い歴史の上に確立されており、研修会や掲示資料により職員全体に周知徹底されている。法令の遵守に従い、利用者の自主性を重んじた生活空間が提供されており、自由と開放感あふれる施設となっている。施設内では様々な所で利用者の笑顔に出会うことができる。創設当初から、利用者の自治会もたゆみなく続けられており、利用者の主体的な活動への支援が行われている。また、生活上の課題解決、アクティビティ活動としての生産活動事業及び地域との交流にも活躍している。

②安定した生活介護の提供

職員の移動は少なく、職員全体が良質で均一なサービスを提供しており、利用者の満足感にもつながっている。

③地域との交流と連携

開設当時より、施設は地域の自治会の一員として位置づけており、職員も利用者も一戸の家族のように、主体的にまた自由に地域行事に参加している。その姿からは、共生という施設の理念の確かさを感じることができる。

管理者は地域における福祉の主体としての責任を自覚され、様々な講演会を開催するなど地域との交流を図っている。最近では人権講座の開催、赤ちゃんステーションの開設など、時代に相応した地域福祉の向上に取り組んでいる。

④効果的人事考課の実施

人事考課は毎年全職員を対象に行われている。目的や基準は書面で明示し丁寧に説明がされている。年 2 回の面接が行われ、職員のやる気の向上につながるよう、フィードバックされている。具体的には新人職員の提案が採用された例もある。

管理者の評価者としてのたゆみない努力と評価眼は職員のやる気を喚起し、施設が活性化すると共に、利用者一人ひとりのサービス向上に繋げようとする意欲の現れとみることができる。

3. 改善が必要と思われる点

①中長期計画の策定

法人の長い歴史的経過の中で、障害者支援施設として位置づけられてきた確かな経営理念と安定感を感じることができる。一方で、制度の変化や利用者ニーズに対応した組織としての中長期ビジョンが明確にされていない。

施設内及び地域福祉向上のために、把握したニーズや課題を中長期計画として策定し、目標に向かった具体的取組みの視点が必要と思われる。隣接の相談事業所ともより連携をはかり、住民や利用者ニーズに即し検討されることを期待する。

②サービスマニュアルの作成と整備

個々の利用者の状況に応じたサービス提供は文章化され活用されているが、各業務の標準的サービスの内容が明確でなく有効活用がされていない。施設として、安全で一定水準以上のサービスを担保するために、標準的な実施方法を文章化し、いつでも閲覧できる場所に置き有効活用されることを期待する。